

英語の傾向

はじめに

今日の医療の世界では、コミュニケーションに英語が使用され、最先端の知識や技術が瞬時に世界規模で共有される時代となっています。ですから、大学を卒業して医療現場で働くにしろ、研究の道に進むにしろ、専門の知識を深めるためには英語の読み書き能力を備えていることが強く望まれています。

傾向

- 1 マークシート方式による選択式です。
- 2 英語の力を身につけるためには、英語の基礎知識が必要です。そのために、本学の英語の試験は、以下の問題構成となっています。
 - ① 文法問題（4択）
動詞の時制、態（能動態・受動態）、準動詞、仮定法の正しい使い方、形容詞・名詞の類義語の知識等
 - ② 会話文の空所補充
 - ③ 並べ換え問題（文章の組み立て）
無生物主語を使った文など、日本語と言葉の並べ方が著しく異なる英文の組み立て等
 - ④ 図やグラフや表などを、説明文を読みながら読み解く問題です。
 - ⑤ 長文読解
本文全体の内容を問う問題だけでなく、本文中の単語の意味や同義語の選択、イディオムの知識を問う問題も含まれています。
- 3 漠然と英文が読み取れるというのではなく、一つ一つの文章を正確に読み書きできることが、すべての問題を解くために必要な条件です。大学入学共通テストよりも時間的に余裕のある構成です。あせらずよく考えれば正解を見つけることができます。
- 4 リハビリテーション学科（総合型選抜：基礎能力型）の英語については、一般選抜の問題を参考にして、基礎的文法項目および語彙力を確認しておく、よい準備になります。